

2024年度 事業報告

公益財団法人 日本レクリエーション協会

もくじ

2024年度事業総括	3
1. レクリエーション運動を担う人材の育成	4
(1) レクリエーション研修	
(2) 公認指導者養成	
(3) 課程認定校での公認指導者養成	
(4) 公認指導者の審査・登録	
2. 指導者の活動支援と地域組織支援	9
(1) レクリエーション・インストラクタースキルアップ制度の整備	
(2) 公認指導者の指導力強化ワークショップ	
(3) 情報提供	
(4) 地域組織支援	
(5) 公認指導者資格の更新	
3. レクリエーションの普及・啓発	13
(1) 全国イベント・啓発	
(2) 生涯スポーツ推進及びその他レク普及	
4. スポーツ・レクリエーション用具・書籍の開発・普及	19
5. その他 法人事務	19
2024年度 都道府県別公認指導者数一覧	21
2024年度事業報告 附属明細書	22

2024年度事業総括

2024年度は、「中期計画 2024」の目標である「レクリエーション運動の活性化と発展的な組織づくり」に向けて、レクリエーション運動を進める基本的な事業である人材育成と、その人材を活用したレク活動の普及事業及び都道府県のレク大会の拡充、公認指導者の活躍の場づくりに取り組んだ。また、そうした事業を通して、加盟団体の組織支援、ガバナンス強化にも取り組んだ。

幅広い人たちにレクリエーションの支援技術や実技に触れてもらうためのレク・サポーター等のプログラムの普及では、レク・サポーター331名(2023年度：441名)、元気アップ・リーダー250名(同352名)が新たに登録した。現在、合計3,673名(同4,293名)が登録しており、メールマガジンを通して情報提供などを行っている。

公認指導者の養成数は、都道府県等での一般養成は500名(同533名)と前年をわずかに下回り、課程認定校での養成が前年より445名少ない1,869名に留まり、全体で2,380名(同2,847名)となった。公認指導者の更新については、レク・インストラクターの更新は15,857名(同16,433名)の対象者に対し11,541名(同11,897名)、更新率は72.8%(同72.4%)となり、全資格の更新率も74.5%(同74.4%)となった。全体の公認指導者数は、昨年度より3,142名減少して37,388名(同40,530名)となった。

レク活動の普及及びレク大会の拡充を図るために、引き続き「健康スポレクひろば普及推進事業」と「スポレク EXPO～健康スポーツ・フェスティバル」を進めた。健康スポレクひろばは全国74地区で756回のプログラムを実施し12,096名が参加(同58地区・689回・11,380名)。スポレク EXPOも全国21会場で54回実施され、35,046名が参加した(同20会場・37回・32,904名)。新たに、小規模な普及活動を促進する「健康スポレクセミナー」を全国28会場・30回実施し、1,290名が参加したが、実施力所数は当初の想定を下回った。第78回全国レクリエーション大会(栃木県)においても、一般市民に向けた体験イベントとしてスポレク EXPOを開催したほか、研究フォーラムの主要プログラムとしてシンポジウムの開催も試みた。

都道府県協会の支援としては、16協会の若手人材育成支援、13協会の公認指導者活動支援、6協会のホームページ維持管理を行った。また、協会の経営やガバナンスの観点から、個別支援を通して、該当する協会の支出構造や組織体制の見直しを行った。

2024年度は、「中期計画 2024」を都道府県協会と進めたことにより、都道府県レクリエーション大会の実施率は8割を超え、レク・インストラクター養成も9割の都道府県で取り組まれるなど、成果も見られた。その一方で、公認指導者数の減少傾向は続いており、そうした収入減に合わせた運営ができない都道府県協会への対応も増えた。

全体の収入については、公認指導者数とスポーツ・レクリエーション用具の普及収入の減少により、前年から1,360万円減少した4億4,850万円となり、収支は1,000万円のマイナスとなった。

こうした状況から、引き続き、将来的な予算規模に合わせた事業を再度検討し、支出の削減に努めるとともに、生活や仕事に役立つ魅力のある指導者養成を行うため、カリキュラムの見直しと都道府県協会講師及び課程認定校教員の育成に取り組む。また、レクリエーション用具の普及を促進するために、新しい用具の開発と既存の用具のリニューアルに、危機感を持って取り組む必要がある。

1. レクリエーション運動を担う人材の育成

(1) レクリエーション研修

①レクリエーションカレッジ（修了証制度）の整備

様々なレクリエーション活動をテキストと動画で学ぶことができるサイト「レクリエーション・オンライン・カレッジ」を設けた。今後、制作した動画に合わせて、コンテンツ（テキスト）を増やしていく。

- ・テキスト：ニチレク・スティック、インディアカ、集団用とびなわ
- ・動画：「3. .レクリエーションの普及・啓発」の「(2) 健康スポーツを推進するためのコンテンツの制作・配信」参照

②外国人介護職のためのレク・サポーター・プログラムの普及

大阪コミュニティワーカー専門学校と名古屋経営短期大学にてインターナショナル・レクリエーション・サポーター養成が行われ、合わせて 53 名に修了証を交付した。

③都道府県レクリエーション協会による普及研修の促進

(1)レクリエーション・サポーター研修

都道府県レク協会にて全国 36 の研修会を開催し、合計 331 名が登録した。(2023 年度：44 研修会・441 名)

学校レク・サポーター：3 件・20 名／介護レク・サポーター：17 件・188 名／グループレク・サポーター：16 件・123 名

(2)元気アップ教室

元気アップ・リーダー養成（元気アップ教室）を 16 都府県（青森県、福島県、東京都、新潟県、富山県、福井県、長野県、愛知県、三重県、京都府、大阪府、奈良県、山口県、徳島県、愛媛県、熊本県）にて 30 教室を開催。250 名が元気アップ・リーダーの登録をした。(2023 年度：27 教室・352 名)

チャレンジ・ザ・ゲーム普及審判員・222 名／ラダーゲッター普及員・22 名／マンカラ普及員・1 名／スポーツテンカ普及審判員・5 名

(2) 公認指導者養成

①レクリエーション・インストラクター養成

(1)都道府県レクリエーション協会との協働養成

日本レク協会（教材作成、広報、受講申込受付、通信学習）と都道府県レク協会（集合学習、現場実習）が協働で行う講習会を 15 都道府県で実施し、171 名が受講した。(2023 年度：12 都道府県・136 名)

(2)レク・インストラクター養成モデル講座

上記の協働養成の内容を基に、通信と集合学習を効果的に組み合わせることにより、集合学習（3 日間）で養成するモデル講座を 5 県（山形県、神奈川県、石川県、鳥取

県、高知県）で実施。50 名が受講した。同時に、当該県の公認指導者を対象とした講師力強化トレーニング説明会には 45 名が参加し、担当講師の講義案添削や講義の振り返りなどをおして、講師育成も行った。（2023 年度：5 県・42 名）

(3)課程認定校等の教員を対象とした養成講座

新たに課程認定を検討・希望する学校の教員や、新たに課程を担当する教員のための養成講座（通信学習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ及びオンライン研修 2 日間）を実施し、10 名が受講した。また、授業研究の機会として既に資格を持つ課程認定校教員が参加できる部分も設け、1 名が参加した。（2023 年度：8 名・4 名）

②スポーツ・レクリエーション指導者養成

(1)スポーツ・レクリエーション指導者養成モデル講座

通信学習（理論科目）を取り入れた新カリキュラムによる養成モデル講座を 3 協会（東京都、山口県、香川県）で実施し、18 名が受講した。（2023 年度：4 協会・42 名）

また、通信学習（理論科目）のみの「お試し受講」を実施し、21 名に修了証を発行した。

(2)課程認定校等の教員を対象とした養成講座

課程認定校での養成を促進するために、課程認定校教員（レク・インストラクター取得者）を対象とした補講講座（通信学習及びオンライン研修 1 日間）を実施し、7 名が受講した。（2023 年度：13 名）既に養成を行っている課程認定校・担当教員からの事例発表も行った。

③福祉レクリエーション・ワーカー養成

学籍延長を希望した 5 名に対し、レポート及びオンデマンド研修、実習の履修を促し、単位を修了した 1 名が審査を受け、資格を取得した。

④資格認定委員会の開催

資格認定委員会を 2 回開催し、公認指導者資格の審査および課程認定校の認定、学習内容や養成方法、今後の資格制度の在り方等についての検討を行った。

また、レク・コーディネーター及び福祉レク・ワーカーの養成カリキュラムについて、改訂に向けたワーキングを行い、今後の養成についても検討した。

○資格認定委員会委員（敬称略）

松尾 哲矢（委員長）	岡山 千賀子	小田原 一記	木村 貴子
小池 和幸	永田 真一	吉田 伊津美	

第 1 回：2024 年 10 月 29 日（火）10:00～12:00 オンライン開催

第 2 回：2025 年 2 月 19 日（水）14:00～16:00 //

○レク・コーディネーターカリキュラム検討ワーキング

第 1 回 2024 年 4 月 16 日（火）14:00～16:00 オンライン開催

○福祉レク・ワーカーカリキュラム検討ワーキング

第 1 回 2024 年 8 月 19 日（月）14:00～16:00 オンライン開催

第 2 回 2025 年 1 月 22 日（水）16:00～17:00 オンライン開催

(3) 課程認定校での公認指導者養成

①課程認定校と養成課程数

「公認指導者養成制度」に基づき、大学、短期大学、専門学校の 191 校 233 課程を認定し、公認指導者の養成を行った。(2023 年度；201 校・241 課程)

○2024 年度課程認定校 養成課程数

養成する資格種別	養成課程数
レクリエーション・インストラクター認定校	186
スポーツ・レクリエーション指導者	31
レクリエーション・コーディネーター認定校	7
福祉レクリエーション・ワーカー認定校	9
合 計	233

②課程認定校での人材養成促進

(1)課程認定校教員・事務担当者オンライン・ミーティング

課程認定校とのコミュニケーションを図り、円滑に養成課程及び資格登録等の手続きをしていくために、オンラインによる教員・事務担当者とのミーティング・説明会を行った。

・2024 年 10 月 23 日（水）13：00～14：00

(2)新規認定校審査

2024 年度は福山医療専門学校、東北生活文化大学短期大学部の新規養成課程設置に関する審査を実施した。

③課程認定校研究連絡会議の運営

課程認定校の教育活動の充実と課程認定校相互の連携、都道府県レクリエーション協会との連携を図るために設置された課程認定校研究連絡会議の事務局業務を行った。

(1)総会・幹事会等

総会	2024 年 6 月 1 日（土） オンライン	・令和 5 年度の会務報告（事業報告・決算報告）の確認 ・令和 6・7 年度役員体制 ・令和 6 年度の会務計画（事業計画・予算）の確認
第 1 回 幹事会	2024 年 5 月 22 日（水） オンライン	1.総会資料・進行の確認およびリハーサル 2.ブロック別交流会について
第 2 回 幹事会	2024 年 9 月 7 日（土） 会場：ライトキューブ宇都宮	1.各プロジェクトの進捗について 2..幹事会参加のための旅費交通費補助について 3.研究連絡会議の会計について（事務局より説明）
第 3 回 幹事会	2024 年 11 月 12 日（火） オンライン	1.各プロジェクトの進捗について 2.研究連絡会議規約の改定案について 3.次回幹事会（3/29～30）について
第 4 回 幹事会	2025 年 3 月 29 日（土） ～30 日（日） 国立オリンピック記念	1.令和 6 年度事業報告（案）、各プロジェクトからの報告について 2.令和 6 年度決算報告（案）について 3.令和 7 年度の実施事業（案）について

	青少年総合センター	4.令和 7 年度以降の運営形態について 5.総会について 6.令和 7 年度の全国研究集会について
--	-----------	--

(2)会議、研修事業等

全国研究集会	2024 年 9 月 7 日 (土) 会場：ライトキューブ宇都宮	<プログラム> 13:00～開会式、13:050～研究発表、15:30～閉会式
北海道・東北ブロック研修	2024 年 10 月 12 日 (土)～13 日 (日) 会場：気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館 等	被災地におけるレクリエーション支援活動の姿
関東・甲信越ブロック研修	2024 年 11 月 23 日 (土・祝) 会場：立教大学池袋キャンパス	自然や環境のために行動できる人 環境教育プログラムを体験する PART2
東海・北陸ブロック研修	2024 年 11 月・9 日 (土)・10 日 (日) 会場：愛・地球博記念公園 他 6 会場	「全国レク大会 in あいちプレ大会」として 7 会場で行われているレクリエーション活動に参加して、レク種目を体験し、レクリエーション指導の幅を広げる
近畿ブロック研修	2024 年 11 月 2 日 (土) 会場：兵庫大学キャンパス	野外でピザを作るデイキャンプ体験とキャンピズの活動と実践についてのミニ講座 ※荒天のため中止
中国・四国ブロック研修	2025 年 1 月 25 日 (土) 会場：トリニティカレッジ出雲医療福祉専門学校	ブロック会議 研修「神話・歴史」 出雲大社巡礼
九州・沖縄ブロック研修 ※中国・四国共催	2025 年 3 月 7 日 (金) 会場：西九州大学佐賀キャンパス	基調講演 「みんなが元気、わたしも元気、未来をつくる笑顔の活動」 シンポジウム「レクリエーション支援者のウェルビーイングを考える」(共催：九州レジャー・レクリエーション学会)
課程認定校支援	認定校の教育活動の充実を図るために、教育活動助成 (3 校) を実施。	
研究助成および自由時間研究検討	令和 5 年度の研究助成事業の論文投稿 3 本の査読化を行った	

(3)自由時間研究の発行

2023 (令和 5) 年度の研究助成分 10 本の実践研究と 1 本の自由投稿原稿を研究紀要「Leisure&Recreation 自由時間研究」第 49 号に掲載・発行。J-STAGE (独立行政法人科学技術振興機構が運営する電子ジャーナルの無料公開システム) に登録した。

(4)助成研究事業

5 件を採択 (うち 1 本は申請取り下げ。自由時間研究 第 50 号に掲載予定)。

(5)課程認定校研究連絡会議会務事務局業務：会計管理など諸事務を処理した。

(4) 公認指導者の審査・登録

① レクリエーション・インストラクターの審査・認定登録

区分	審査期日・会場	登録者数
一般	各都道府県レクリエーション協会で実施	430名
課程認定校	各学校の学内審査により実施	1,649名
その他	課程認定校教員のための養成講習会／日本レク協会で実施	10名
合計		2,089名

参考：2023(令和5)年度

区分	審査期日・会場	登録者数
一般	各都道府県レクリエーション協会で実施	427名
課程認定校	各学校の学内審査により実施	2,074名
その他	課程認定校教員のための養成講習会／日本レク協会で実施	7名
合計		2,508名

② スポーツ・レクリエーション指導者の審査・認定登録

区分	審査期日・会場	登録者数
一般	県レクリエーション協会で実施	63名
課程認定校	各学校の学内審査により実施	177名
その他	課程認定校教員のための養成講習会／日本レク協会で実施	7名
合計		247名

参考：2023(令和5)年度

区分	審査期日・会場	登録者数
一般	日本レク協会と各都道府県レクリエーション協会で実施	87名
課程認定校	各学校の学内審査により実施	202名
その他	課程認定校教員のための養成講習会／日本レク協会で実施	8名
合計		297名

③ レクリエーション・コーディネーターの審査・認定登録

区分	審査会期日・会場	受験者数	合格者数	登録者数
課程認定校 (4校)	各学校の学内審査により実施	6名	6名	6名
合計				6名

参考：2023(令和5)年度

区分	審査会期日・会場	受験者数	合格者数	登録者数
課程認定校 (4校)	各学校の学内審査により実施	10名	10名	9名
合計				9名

④福祉レクリエーション・ワーカーの審査・認定登録

区分	審査会期日・会場	受験者数	合格者数	登録者数
一般	2025 年 1 月 22 日：web 審査	1 名	1 名	1 名
一般合計		1 名	1 名	1 名
課程認定校 (7 校)	各学校の学内審査により実施	4 8 名	3 7 名	3 7 名
				3 8 名

参考：2023(令和5)年度

区分	審査会期日・会場	受験者数	合格者数	登録者数
一般	2023 年 5 月 16 日：web 審査 2024 年 1 月 28 日：web 審査	1 名 3 名	1 名 3 名	1 名 3 名
一般合計		4 名	4 名	4 名
課程認定校 (5 校)	各学校の学内審査により実施	3 8 名	2 9 名	2 9 名
				3 3 名

2. 指導者の活動支援と地域組織支援

(1) レクリエーション・インストラクタースキルアップ制度の整備

①制度の周知及び昇級促進

ホームページや解説動画、レクルーの記事を活用し、制度の周知と昇級への意欲を高める情報発信を行った。また、都道府県レク協会へも定期的に情報を発信し、スキルアップの促進、学びの場や活躍の場の提供などの公認指導者支援について協力を呼びかけた。

②上級レクリエーション・インストラクター審査会

第1次審査（書類審査）と第2次審査（東京で対面）での審査会を開催し、昇級申請者20名中第1次審査合格者9名、そのうち第2次審査に7名が合格し、昇級した。

○令和6年11月17日（土）国立オリンピック記念青少年総合センター

※20名中第1次審査課題未提出10名

③準上級レクリエーション・インストラクター認定講習及び審査会

認定講習及び審査会を東京で2回開催し、昇級申請者8名中6名が合格した（2023年度：13名合格）。昇級申請者には、事前審査課題と当日審査対策のための予備校を2回開催し、審査内容を理解して審査に臨めるようにした。

○令和6年10月20日（日） ○令和6年11月10日（日）

国立オリンピック記念青少年総合センター

④講師トレーニング

準上級レク・インストラクター認定の要件となる講師トレーニングをオンラインで2回

開催し、24 名が受講した。講師力の向上に向けた事前課題を設定し、講師トレーニング当日の学習効果を高められるようにした。(2023 年度：41 名)

- ・令和 6 年 5 月 25 日（土）オンライン：9 名
- ・令和 7 年 3 月 16 日（土）オンライン：15 名

⑤中級レクリエーション・インストラクターの審査・認定

準中級レク・インストラクター（2021 年度以前の昇給者）の審査を行い、147 名が中級に合格した。(2023 年度：179 名)

(2) 公認指導者の指導力強化ワークショップ

公認指導者の指導力のレベルアップを図るために、第一線で活躍する公認指導者によるモデル指導や技術の解説、演習等のワークショップ（ライブ配信 4 回、対面ワークショップ 2 回）を開催し、延べ 413 名が参加した。

- ・第 1 回：令和 6 年 6 月 12 日（金）ライブ配信：210 名
- ・第 2 回：令和 6 年 7 月 12 日（金）ライブ配信：76 名
- ・第 3 回：令和 6 年 8 月 17 日（土）・18 日（日）対面ワークショップ：17 名
- ・第 4 回：令和 6 年 10 月 18 日（金）ライブ配信：51 名
- ・第 5 回：令和 6 年 11 月 15 日（火）ライブ配信：44 名
- ・第 6 回：令和 7 年 2 月 1 日（土）・2 日（日）対面ワークショップ：16 名

(3) 情報提供

①「レクぽ」及び電子ライブラリーを活用した情報配信

更新やスキルアップの学習教材動画などの掲載を行った。また「レクぽ」サイト内に電子ライブラリーを設け、情報誌「レクルー」など協会が既に発行した出版物のコンテンツを公開した。

レクルー記事を web 用に加工掲載する作業を継続し、今後もコンテンツを増やす。

2024 年度追加コンテンツ：745 本（あそび・32 本 読物・704 本 動画・9 本）

(2023 年度：1,530 本)

②情報誌 R e c r e w（レクルー）の発行

公認指導者をはじめレクリエーション活動に関わる人たちに向けて、役立つプログラムやノウハウ、用具等の情報を提供する情報誌 Recrew（レクルー）を 6 回発行した。

2024 年度は、災害時のレクリエーション活動の重要性や支援状況の報告、スポーツ・レクリエーション活動の普及推進などを取り上げた特集などを掲載した。

号 別	特 集
2024 年 5 月号	復興のために自分たちでできること
2024 年 7 月号	スポーツにレクリエーションのチカラをもっと
2024 年 9 月号	スポーツ&レクリエーションで元気な日本を！
2024 年 11 月号	一期一笑のおもてなし あなたの笑顔 つなごう明日へ
2025 年 1 月号	レクリエーションで生きる力を育む
2025 年 3 月号	楽しいを超えていこう

(4) 地域組織支援

①加盟団体運営代表者会議

都道府県協会、種目別加盟団体、加盟協力団体の運営代表者が集まり、レクリエーション運動の方向性や次年度に向けた課題について検討する会議を開催した。

2023 年度に続き対面で 2 日間開催し、全体会ではスポーツ庁から「国民のライフパフォーマンス向上に向けた取り組み」に関する説明等がなされたほか、次年度の日本レクリエーション協会の基本方針及び重点施策を説明し、分科会にて「中期計画 2024」の推進について内容を共有した。

- ・期 日 2024 年 12 月 3 日（火）、4 日（水）
- ・会 場 国立オリンピック記念青少年総合センター

②ブロック会議

レクリエーション運動を推進するための都道府県協会との連携・協働を図るため、ブロック会議を以下のとおり開催した。2024 年度は、都道府県協会の現状把握結果を基に、レクリエーション運動の活性化と発展的な組織づくりに向けて、今後の方向性を検討した。

ブロック名	日 程	開催地	幹事県
北海道・東北	6 月 23 日(日)～24 日(月)	南陽市	山形県
関東・甲信越	6 月 24 日(月)	上尾市	埼玉県
東海・北陸	6 月 15 日(土)	岐阜市	岐阜県
近畿	6 月 20 日(木)	奈良市	奈良県
中国・四国	6 月 21 日(金)～22 日(土)	山口市	山口県
九州・沖縄	6 月 15 日(土)	熊本市	熊本県

③地域事業普及促進強化事業

都道府県レク協会の組織基盤強化と、普及啓発事業拡大のために、支援事業を行った。

(1)「中期計画 2024」の推進

レクリエーション運動のミッション・ビジョンの実現に向け策定した「中期計画 2024」を推進するため、都道府県協会の事業実施状況を確認した。その結果をもとに、基本的な役割となる 5 つの事業を中心に支援策を実施。都道府県協会の好事例（3 事例）についても共有した。

(2) 組織の担い手育成支援

都道府県協会の組織運営を担う若手人材を育成するために、若手の公認指導者のグループづくりとその活動を支援するための助成を、16 協会に行った。

- ・助成先：青森県、宮城県、群馬県、千葉県、富山県、福井県、岐阜県、兵庫県、岡山県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、長崎県、熊本県、宮崎県

(3) 公認指導者活動支援

公認指導者の活発な活動を推進するために、公認指導者が主体的に活動する機会を提供する、あるいは公認指導者グループ等が自主的に取り組む新たな活動を支援する都道府県レク協会に対しての助成を、13 協会 20 事業に行った。

- ・助成先：北海道、宮城県、千葉県（2事業）、神奈川県、富山県（2事業）、岐阜県（2事業）、京都府、兵庫県、岡山県、広島県、山口県、長崎県（3事業）、熊本県（3事業）

(4)都道府県レクリエーション協会の事務局支援

都道府県協会の事業を活性化するために、個別に都道府県レク協会を訪問し、意見交換を行うとともに、協会運営の課題に対する改善策を検討する等、事務局体制の強化について支援を行った。

(5) 公認指導者資格の更新

①公認指導者資格の更新（2025年3月31日現在）

資格別	更新前人数	更新数	更新率
レクリエーション・インストラクター	15,857	-	72.78%
準中級レクリエーション・インストラクター		9,358	
中級レクリエーション・インストラクター		753	
準上級レクリエーション・インストラクター		1,085	
上級レクリエーション・インストラクター		345	
スポーツ・レクリエーション指導者	961	740	77.00%
余暇開発士	165	138	83.64%
レクリエーション・コーディネーター	950	821	86.42%
福祉レクリエーション・ワーカー	1,405	1,170	83.27%
のべ人数	19,338	14,425	74.52%

参考：公認指導者資格の更新（2024年3月31日現在）

資格別	更新前人数	更新数	更新率
レクリエーション・インストラクター	16,433	-	72.40%
準中級レクリエーション・インストラクター		9,689	
中級レクリエーション・インストラクター		705	
準上級レクリエーション・インストラクター		1,153	
上級レクリエーション・インストラクター		350	
スポーツ・レクリエーション指導者	902	713	79.05%
余暇開発士	222	189	85.14%
レクリエーション・コーディネーター	1,001	869	86.81%
福祉レクリエーション・ワーカー	1,430	1,203	84.13%
のべ人数	19,988	14,871	74.40%

②公認指導者数（2025年3月31日現在）

資格名	人数
レクリエーション・インストラクター	6,985
準中級レクリエーション・インストラクター	19,309
中級レクリエーション・インストラクター	1,456
準上級レクリエーション・インストラクター	2,239

上級レクリエーション・インストラクター	693
スポーツ・レクリエーション指導者	2,165
余暇開発士	326
レクリエーション・コーディネーター	1,718
福祉レクリエーション・ワーカー	2,497
のべ人数	37,388

参考：公認指導者数（2024年3月31日現在）

資格名	人数
レクリエーション・インストラクター	8,284
準中級レクリエーション・インストラクター	20,653
中級レクリエーション・インストラクター	1,364
準上級レクリエーション・インストラクター	2,388
上級レクリエーション・インストラクター	735
スポーツ・レクリエーション指導者	2,199
余暇開発士	354
レクリエーション・コーディネーター	1,852
福祉レクリエーション・ワーカー	2,701
のべ人数	40,530

3. レクリエーションの普及・啓発

（1）全国イベント・啓発

①第78回全国レクリエーション大会2024とちぎ

「いちご一笑（いちえ）のおもてなし あなたの笑顔 つなごう明日へ」をスローガンに、第78回全国レクリエーション大会2024とちぎを、栃木県宇都宮市を中心に栃木市、佐野市、鹿沼市、小山市、大田原市、下野市、上三川町、塩谷町、高根沢町で開催した。

総合開会式、交歓の夕べをはじめ、19種目のスポーツ・レクリエーション交流全国、32の研究フォーラム、一般市民を対象としたスポレクEXPOを開催し、全国から延べ16,554名の参加を得て成功裏に開催することができた。

○主催：公益財団法人日本レクリエーション協会、一般社団法人栃木県レクリエーション協会、栃木県、栃木県教育委員会、宇都宮、栃木市、佐野市、鹿沼市、小山市、大田原市、下野市、上三川町、塩谷町、高根沢町、開催市町レクリエーション協会

○共催：スポーツ庁

○後援：総務省、環境省、厚生労働省、経済産業省、国土交通省、林野庁、人事院（一財）日本宝くじ協会、（公財）日本スポーツ協会、（公社）全国スポーツ推進委員連合、（社福）全国社会福祉協議会、（公財）健康・体力づくり事業財団、（公財）日本パラスポーツ協会 ほか

○開催市町：宇都宮、栃木市、佐野市、鹿沼市、小山市、大田原市、下野市、上三川町、

塩谷町、高根沢町

○期 日：2024年9月6日（金）～8日（日）

○参加者：16,554名（3日間の延参加者）

○内 容：「研究フォーラム」「スポーツ・レクリエーション交流大会」「開・閉会式」「交歓の夕べ」「特別行事」

②全国一斉「あそびの日」キャンペーン 2024

スポーツ庁の共催のもと、「あそび」を通して子どもたちを育み、家族のふれあい、地域の交流等を全国各地で促進するために、全国一斉「あそびの日」キャンペーン 2024（21回目）を開催した。

「あそびの力は無限大！」をサブタイトルとし、全国 5,021 のプログラムに合計 181,487 名が参加した。（2023 年度：3,972 プログラム・160,539 名）

○サブタイトル あつまり、ふれあい、笑いあう

○開催期間 2024年9月6日（金）～11月10日（日）

○主 催 公益財団法人日本レクリエーション協会

○共 催 スポーツ庁、都道府県レクリエーション協会、一般財団法人日本ユースホステル協会、一般財団法人休暇村協会、一般財団法人公園財団、独立行政法人国立青少年教育振興機構

○全国後援 総務省、こども家庭庁、全国市長会、全国町村会、社会福祉法人全国社会福祉協議会、公益財団法人日本パラスポーツ協会

③ウェブサイト等を活用した情報配信

各種事業の速やかな発信に努めるとともに、2024 年度は電子書籍情報を公開する「電子ライブラリー」の公開や公認指導養成講習会などの関連情報の紹介する「レクリエーション資格紹介サイト」のリニューアルを行った。また、道県協会のホームページのリニューアル、運用支援を行った。その他、メールでの情報配信サービスを対象別に配信することや、SNS（フェイスブック、ツイッター）を活用した情報配信等も実施した。

(1)ウェブサイト

- ・協会サイト recreation.or.jp 閲覧数：420,282PV 訪問者数：236,545 人
- ・レクリエーション情報サイト“レクぼ” recreation.jp
閲覧数：2,531,313PV 訪問者数：457,400 人
- ・レクリエーション・カタログ shop.recreation.jp
閲覧数：265,377PV 訪問者数：44,157 人
- ・健康スポーツ促進サイト“ケンスポコム” kenko.sportscom.jp
- ・レクリエーション資格紹介サイト shikaku.recreation.jp
- ・公認指導者サイト mem.recreation.or.jp
- ・講師派遣サイト kensyu.recreation.or.jp
- ・あそびの日サイト asobi.recreation.jp
- ・子供の体力向上ホームページ kodomo.recreation.or.jp
- ・課程認定校サイト recschoolstart.recreation.or.jp
- ・スポーツテンカサイト sportstenka.com

(2)メールマガジン

- ・公認指導者向け レクマガ （月 1 回配信）

・レクリエーション・サポーター向け ピアサポ（月 1 回配信）

(3) SNS 配信

フェイスブック、ツイッター、インスタグラム

(4) 都道府県レクリエーション協会 web サイト支援

北海道、福島県、福島市、栃木県、長野県、長崎県の各協会の web サイトの運用保守を行った。

(2) 生涯スポーツ推進及びその他レク普及

①「健康スポレクひろば」普及推進事業

普段運動をしていない高齢者（スポーツ未実施者）に参加を促し、スポーツ・レクリエーション活動を通じた健康づくりを行う「健康スポレクひろば」普及推進事業を 74 地区で実施した。全国で 756 回のプログラムを実施し、延べ 12,096 人が参加した。（2023 年度：58 地区・689 回・11,380 人）

・実施地区（74 地区）

青森県青森市、福島県福島市・伊達郡・二本松市、新潟県新潟市（7 地区）・柏崎市・阿賀野市（2 地区）・佐渡市・村上市、埼玉県上尾市（2 地区）、千葉県千葉市・袖ヶ浦市・茂原市・野田市（2 地区）、東京都東大和市、富山県富山市（2 地区）、福井県福井市（3 地区）・越前市・鯖江市、愛知県長久手市、京都府京都市、兵庫県神戸市・明石市・淡路市、山口県宇部市（5 地区）・岩国市・山口市（2 地区）・山陽小野田市・周南市・防府市・下関市（2 地区）、愛媛県西予市、高知県高知市（2 地区）・高岡郡・香南市・安芸郡、福岡県築上郡・朝倉郡・福津市・北九州市（4 地区）、熊本県熊本市（4 地区）・山鹿市（2 地区）・玉名郡・阿蘇郡・八代市（3 地区）、佐賀県武雄市

② スポレク EXPO ～健康スポーツ・フェスティバル～

子どもから高齢者、障がい者など幅広く市民を対象に、多様なスポーツ・レクリエーション種目の体験と交流の機会を提供する「スポレク EXPO」～健康スポーツ・フェスティバル～を実施した。2024 年度は、全国 21 会場で合計 54 回実施し、延べ 35,046 人が参加した。（2023 年度：20 会場・37 回・32,904 名）

・実施会場（委任先）

NO	委 託 先 団 体 名	開 催 日
1	青森県レクリエーション協会	令和 6 年 11 月 3 日
2	岩手県レクリエーション協会	令和 6 年 9 月 7 日
3	福島県レクリエーション協会	令和 6 年 9 月 14 日
4	群馬県レクリエーション協会	令和 6 年 8 月 17 日
5	埼玉県レクリエーション大会 in さいたま実行委員会	令和 6 年 10 月 27 日
6	新潟県レクリエーション協会	令和 6 年 9 月 22 日、10 月 5 日、6 日
7	長野県レクリエーション協会	令和 6 年 7 月 14 日、9 月 22 日、10 月 20 日
8	京都府レクリエーション協会	令和 6 年 6 月 1 日
9	兵庫県レクリエーション協会	令和 6 年 10 月 13 日、12 月 1 日、令和 7 年 1 月 18 日、19 日

10	岡山県レクリエーション協会	令和6年9月23日
11	山口県レクリエーション協会	令和6年6月15日～7月28日
12	徳島県レクリエーション協会	令和6年11月3日、4日、10日、 16日、22日、24日、12月7日
13	愛媛県レクリエーション協会	令和6年11月10日
14	高知県レクリエーション協会	令和6年10月7日、13日、14 日、15日、16日、20日、25日、 27日、11月3日、10日、17日
15	福岡県レクリエーション協会	令和6年12月8日
16	熊本県レクリエーション協会	令和6年10月14日、26日
17	福島県レクリエーション協会	令和6年5月4日
18	狭山市レクリエーション協会	令和6年6月9日
19	UEKIレクリエーション協会	令和7年1月12日
20	秋田・由利本荘にかほウオーキング協会	令和6年10月12日、13日
21	青森県ウオーキング協会	令和6年9月29日

③健康スポレクセミナー

「子どもの体力向上」や「健康寿命の延伸」、「地域の活性化」などの多様化する課題や目的、対象に適したスポレク活動の選択方法を学び、誰もが楽しくスポーツ・レクリエーションに取り組むことができるよう、ルールやあそび方をアレンジして提供する方法を身につけるセミナーを全国28会場で30回実施し、延べ1,290人が参加した。

・実施会場（委任先）

NO	委 託 先 団 体 名	事 業 名
1	宮城県レクリエーション協会	スポーツウエルネス吹矢体験研修会
2	福島県レクリエーション協会	元気アップ教室 2024 ラダーゲッター教室
3	福島県レクリエーション協会	健康スポレクひろばスタッフトレーニング
4	福島県レクリエーション協会	レクリエーション指導者フォローアップ研修「スキルアップガイダンス」
5	福島県レクリエーション協会	レクリエーション指導者フォローアップ研修会
6	新潟県レクリエーション協会	チャレンジ・ザ・ゲーム普及審判員講習会
7	新潟県レクリエーション協会	チャレンジ・ザ・ゲーム普及審判員講習会
8	新潟県レクリエーション協会	親子チャレンジスポーツ普及指導員講習会
9	新潟県レクリエーション協会	リズムエクササイズを活用した健康づくり
10	新潟県レクリエーション協会	チャレンジ・ザ・ゲーム普及審判員養成講習会
11	富山県レクリエーション協会	レク式体力チェック
12	富山県レクリエーション協会	チャレンジ・ザ・ゲーム普及審判員養成講習会
13	富山県レクリエーション協会	モルック教室
14	兵庫県レクリエーション協会	健康スポレクひろば指導者講習会
15	兵庫県レクリエーション協会	ニュースポーツ体験会
16	兵庫県レクリエーション協会	教員講習会
17	兵庫県レクリエーション協会	フォローアップ研修
18	山口県レクリエーション協会	ノルディックウオーキング

19	山口県レクリエーション協会	健康スポレクひろばスタッフトレーニング
20	山口県レクリエーション協会	チャレンジ・ザ・ゲーム教室
21	山口県レクリエーション協会	フォローアップ研修
22	高知県レクリエーション協会	チャレンジ・ザ・ゲーム教室
23	高知県レクリエーション協会	高知県における高齢者の健康寿命からレク活動の効果を図る実践力アップ教室
24	高知県レクリエーション協会	ニュースポーツとチャレンジ・ザ・ゲーム
25	高知県レクリエーション協会	ニュースポーツとチャレンジ・ザ・ゲーム
26	福岡県レクリエーション協会	ニュースポーツセミナー
27	福岡県レクリエーション協会	モルック教室
28	鹿児島県レクリエーション協会	健康スポレクセミナー

④健康スポーツを推進するためのコンテンツの制作・配信

健康スポーツへの関心や参加を促すための動画コンテンツを制作し、「レクぽ」及び「ケンスポコム」を通じて配信した。2024年度は下記のコンテンツを制作した。

ゲーム・コスモス プロモーション／ゲーム・コスモス／ニチレクリング／ふらば〜る／ラダーゲッター／ニチレクリング／キンボールスポーツ／チャレンジ・ザ・ゲーム〜学校での取り組み〜

⑤全国いつでもチャレンジ・ザ・ゲーム大会

年間を通して、いつでも、どこでも、誰でも参加することができる「全国いつでもチャレンジ・ザ・ゲーム大会」を開催し、合計 776 件の記録が認定された。(2023 年度：1,013 件)

⑥受託研修、講師派遣等によるレクリエーションの普及

(1)心の元気づくり 365 プロジェクト

今年度も継続して、レクリエーションを広く普及するために無償で講師を派遣するキャンペーン事業を実施し、レクリエーション体験及びレクリエーション研修プログラムを提供した。今年度より都道府県レク協会（各 5 件上限）の活用枠を設けたほか、文部科学省の土曜学習応援団プログラムにも講師を派遣した。

プログラム名	実施件数	
KOKO プロ 365	日本レク協会受付分	1 件（内 研修 1）
	実施都道府県協会数：16 協会	36 件（内 研修 8 、体験 28）
土曜学習応援団	千葉県、東京都、大阪府、沖縄県	7 件

(2)研修会等への講師派遣

首都圏を中心に、行政機関、社会福祉協議会、高齢者施設、青少年育成団体等からのレクリエーション研修の依頼に対し、講師を派遣した。

領域	依頼先	件数
高齢者福祉（介護予防等）	行政機関、社会福祉協議会、高齢者大学、外国人支援組織	9

青少年育成	行政機関、青少年育成団体	8
保育・子育て支援	保育園協会、保育施設	4
その他	県レクリエーション協会	1

(3)公民館への講師派遣

明治安田生命が公民館の講座を支援する「MY 定期講座」に「レクリエーション講座」が追加されたことを関係機関に周知し、依頼のあった公民館へ講師を派遣した。

- ・派遣先 北海道、沖縄県、千葉県、東京都（2 事業）

⑦第 79 回全国レクリエーション大会（2025 年）プレ大会

2025 年度に開催を予定している第 79 回全国レクリエーション大会の機運を高めるため、愛知県内にてプレ事業を実施した。

久屋大通りのサカエヒロバスを中心に約 7,000 名の参加を得て開催し、2025 年度開催のシミュレーションを行うとともに、名古屋市を中心に広報活動を実施した。

⑧令和 6 年度「スポーツの日」中央記念行事

スポーツ庁やスポーツ関連団体と共に「令和 6 年度スポーツの日中央記念行事スポーツ祭り 2024」を、ハイパフォーマンススポーツセンター（陸上競技実験場）で開催した。

日本レク協会担当プログラムでは、「レッツ・チャレンジ！おもしろスポーツ」を実施。午前・午後の 2 部構成で 7 種目団体が体験ブースを設置し、110 組の親子が参加した。

- ・主催：スポーツ庁、独立行政法人日本スポーツ振興センター、公益財団法人日本スポーツ協会、公益財団法人日本オリンピック委員会、公益財団法人日本レクリエーション協会、公益財団法人日本パラスポーツ協会
- ・期日：2024 年 10 月 14 日（月・祝）

⑨生涯スポーツ・体力づくり全国会議 2025

スポーツ庁、関連団体と共に「生涯スポーツ・体力づくり全国会議 2025 - 人・スポーツ・未来 -」を石川県金沢市にて実施した。

全体テーマ『『スポーツの価値』の更なる向上を目指して』のもと、全体会と 4 つの分科会を実施。この中で、全国スポーツ推進委員連合と連携して第 2 分科会『『災害とスポーツ／フェーズ 1～』避難所等におけるスポーツ・レクリエーション関係者の役割～人との関わり、コミュニケーションをとおした心と体の健康づくり～』の企画・運営を行った。また、協賛団体の展示に関する運営総括を担当した。

- ・主 催：スポーツ庁、生涯スポーツ・体力づくり全国会議実行委員会（公益財団法人日本スポーツ協会、公益財団法人日本レクリエーション協会、公益財団法人日本スポーツ施設協会、公益財団法人スポーツ安全協会、公益社団法人全国スポーツ推進委員連合、公益社団法人スポーツ健康産業団体連合会、公益財団法人日本パラスポーツ協会、公益財団法人健康・体力づくり事業財団、石川県）
- ・期 日：2025 年 2 月 7 日（金）
- ・参加者：485 名

⑩笑顔 Again プロジェクト「能登レクサポート」

2024 年 1 月 1 日に発災した能登半島地震の被災者の健康づくり、ストレス緩和に、レク

リエーション活動を通して寄与するために支援活動を実施した。

2024年度は、新たに2025年1月から1年間、七尾市の仮設住宅集会所にて週1回の支援活動がスタートし、七尾市協会が活動が続いている。

また、石川県協会及び七尾市協会の活動支援、ユニホーム・用具の提供、チャリティTシャツの販売、支援金の募集も行った。第78回全国レクリエーション大会(栃木県)では、ブースを設け被災状況の展示、能登の塩や輪島塗の塗り箸を販売し、支援について理解と協力を求めた。

4. スポーツ・レクリエーション用具・書籍の開発・普及

①レクリエーション・カタログ2024の作成

スポーツ・レクリエーション活動を効果的に実施するための用具・書籍を紹介するレクリエーション・カタログ2024を作成した。約2万部を発行し、全国の福祉施設、関連機関・団体へ配布した。

②ウェブサイト：WEB版レクリエーション・カタログの運用

レク・カタログのウェブサイト運営を行った。

○アクセス評価：閲覧数：265,377PV 訪問者数：44,157人
(2023年度：254,794PV 訪問者数：41,435人)

③オリジナル用具の開発

健康づくりの現場や高齢者施設等で活用しやすい用具「ゲーム・コスモス」を開発し、2024年度に販売した。また、インディアカ・ボールや「ふらば〜る」等の既存用具の品質向上を目指したリニューアルも進めた。

今後は開発した用具の現場での活用を進めていくことが課題である。

5. その他 法人事務

①生涯スポーツ功労者表彰（文部科学大臣表彰）

地域におけるスポーツ・レクリエーションの健全な普及及び発展に貢献し、功績顕著なレクリエーション公認指導者を日本レクリエーション協会が推薦し、下記の方々が生涯スポーツ功労者として認められ、文部科学大臣より表彰された。

- ・高橋 昌樹 氏 一般社団法人青森県レクリエーション協会副会長
- ・菊地 義寿 氏 秋田県レクリエーション協会事務局長
- ・笠貫 洋子 氏 東京都フォークダンス連盟会長
- ・竹本 康史 氏 一般社団法人岐阜県レクリエーション協会副会長
- ・松井 雅美 氏 春日井市レクリエーション指導者クラブ副会長
- ・山本 存 氏 特定非営利活動法人兵庫県レクリエーション協会常任理事
- ・三吉 孝 氏 日本エスキーテニス連盟理事長

- ・久保田 孝子 氏 山口県レクリエーション卓球連盟会長
- ・濱田 淳子 氏 鳴門民踊研究会会長
- ・吉村 正春 氏 特定非営利活動法人長崎県レクリエーション協会副会長

②レクリエーション運動普及振興功労者表彰（理事長表彰）

レクリエーション運動の普及・発展に多大なる功績をあげた者を、加盟団体より推薦を受け 72 名、2 団体、2 校を表彰した。

○受賞者	都道府県レクリエーション協会推薦	59 名
	種目・協力加盟団体推薦による推薦	13 名
	市町村レクリエーション協会	2 団体
	課程認定校	2 校

③レクリエーション公認指導者優秀学生表彰

課程認定校卒業時に、各認定校で最も優れた評価を得た学生を表彰する制度で、2024 年度は 70 名を表彰した。

④理事会

- 第 1 回 2024（令和 6）年 5 月 21 日（火）14：00～15：30
公益財団法人 日本レクリエーション協会 会議室（オンライン会議併用）
 - ・2023（令和 5）年度事業報告（案）について
 - ・2023（令和 5）年度収支決算（案）について
 - ・第 80 回全国レクリエーション大会の開催について
 - ・2024（令和 6）年度定時評議員会の招集について
- 第 2 回 2025（令和 7）年 3 月 13 日（木）14：00～15：30
公益財団法人 日本レクリエーション協会 会議室（オンライン会議併用）
 - ・2025（令和 7）年度事業計画（案）について
 - ・2025（令和 7）年度収支予算（案）について
 - ・2025（令和 7）年度借入金限度額について
 - ・加盟団体の脱退について

⑥評議員会

- 定時評議員会 2024（令和 6）年 6 月 10 日（月）14：00～15：30
日本レクリエーション協会 会議室（オンライン会議併用）
 - ・2023 年度事業報告（案）について
 - ・2023 年度収支決算報告（案）について

⑧一般社団法人日本インディアカ協会事務局運営支援

一般社団法人日本インディアカ協会の事務局運営を支援した。

- ・協会運営の支援
- ・ホームページ等の管理・運用
- ・会員情報管理・運用支援

[都道府県別公認指導者一覧] (令和7年3月31日現在)

所属協会	人数	インストラクター	準中級	中級	準上級	上級	スポレク指導者	余暇開発士	レクコーディネーター	福祉レクワーカー	延べ数
1 北海道	1,353	383	809	65	55	30	197	1	69	37	1,646
2 青森県	518	124	330	20	26	9	15	0	13	38	575
3 岩手県	610	144	378	20	48	16	26	4	29	46	711
4 宮城県	1,052	340	563	48	47	22	49	3	66	88	1,226
5 秋田県	285	24	207	14	13	16	18	2	21	20	335
6 山形県	257	47	141	11	13	6	0	1	12	52	283
7 福島県	795	106	550	37	38	15	91	3	30	62	932
8 茨城県	583	107	364	19	48	16	13	5	22	82	676
9 栃木県	749	211	416	34	64	14	23	2	28	77	869
10 群馬県	833	312	445	18	44	4	13	4	15	45	900
11 埼玉県	803	73	585	53	66	10	43	13	40	56	939
12 千葉県	1,078	311	615	44	68	15	52	20	53	48	1,226
13 神奈川県	887	126	597	53	53	30	34	29	61	47	1,030
14 東京都	2,036	464	1,041	107	139	68	251	37	116	136	2,359
15 新潟県	1,181	315	572	30	140	23	91	29	92	168	1,460
16 富山県	351	70	242	7	20	8	20	5	17	19	408
17 石川県	189	1	137	16	26	3	24	2	20	22	251
18 福井県	411	126	204	8	50	14	23	2	33	105	565
19 山梨県	185	58	103	10	11	1	13	0	4	10	210
20 長野県	549	64	393	33	41	4	47	2	39	37	660
21 岐阜県	791	186	478	46	52	18	68	5	48	44	945
22 静岡県	834	84	541	48	94	16	55	9	47	121	1,015
23 愛知県	1,635	511	857	77	101	46	121	8	102	91	1,914
24 三重県	606	100	395	29	42	22	10	3	47	51	699
25 滋賀県	227	29	149	14	20	9	6	3	21	18	269
26 京都府	538	171	278	33	38	13	19	1	34	34	621
27 大阪府	1,432	332	865	75	91	26	69	18	110	87	1,673
28 兵庫県	1,264	242	820	63	73	20	108	26	48	103	1,503
29 奈良県	139	32	83	9	8	2	27	5	11	8	185
30 和歌山県	165	0	137	8	7	9	2	1	10	10	184
31 鳥取県	220	29	149	9	25	5	21	3	11	25	277
32 島根県	450	109	288	14	30	4	8	1	19	20	493
33 岡山県	630	80	397	24	102	16	7	7	42	99	774
34 広島県	995	159	617	53	85	28	35	14	63	136	1,190
35 山口県	718	170	446	24	62	9	51	7	31	57	857
36 徳島県	484	141	283	18	20	6	139	3	9	33	652
37 香川県	426	68	322	16	14	1	16	4	6	15	462
38 愛媛県	550	99	385	29	26	3	35	2	13	31	623
39 高知県	319	51	241	11	10	4	12	0	10	9	348
40 福岡県	1,327	348	803	54	70	29	23	20	77	53	1,477
41 佐賀県	305	65	190	10	35	4	28	3	5	38	378
42 長崎県	473	63	349	26	21	13	22	1	18	23	536
43 熊本県	342	41	256	14	23	6	43	1	16	21	421
44 大分県	455	96	288	24	30	9	29	4	22	37	539
45 宮崎県	341	24	256	24	22	15	52	3	20	19	435
46 鹿児島県	795	209	429	35	87	19	42	8	55	96	980
47 沖縄県	411	116	235	11	29	10	68	2	26	20	517
48 北九州市	134	24	80	11	12	7	6	0	17	3	160
合 計	31,711	6,985	19,309	1,456	2,239	693	2,165	326	1,718	2,497	37,388

2024（令和6）年度事業報告 附属明細書

2024（令和6）年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

2025（令和7）年6月
公益財団法人日本レクリエーション協会